

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月28日

計画の名称	利府町地域住宅等整備計画（重点計画）												
計画の期間	令和08年度～令和11年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	利府町												
計画の目標	<p>【目標1「災害」に強い住まいづくり】近年多発する地震や集中豪雨などの災害の教訓を踏まえ、特に老朽化した高経年の公営住宅を耐震性に優れた住宅へ建替えると共に、敷地全体の洪水・土砂災害ハザード解消を行うことで、住民の命や財産を守り、住まいのセーフティネットとしての機能充実を図る。</p> <p>【目標2「安心」して生活できる住まいづくり】高齢者や子育て世帯に配慮し、住戸内段差がない（玄関框を除く）バリアフリー化住戸を整備するほか、住民間の見守りやコミュニティ形成を促す施設整備を行う。新住棟への移転に際しては、個々に移転計画を作成し支援するなど配慮を行う。</p> <p>【目標3「持続可能」な住まいづくり】公営住宅では宮城県内初のPFIを導入し、民間提案を積極的に取り入れ、長期に渡り良質な住環境構築を図り適切な維持管理を行うなど、住まいのセーフティネットの機能を充実させるほか、町のゼロカーボンシティ宣言による脱炭素施策に基づき、環境負荷軽減に配慮した住まいづくりを行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,648	A	2,597	B	0	C	51	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.92	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和8年度		令和11年度末
1	多発する集中豪雨による災害に備えた防災性の高い団地を整備する （定義）町で管理する公営住宅の洪水・土砂災害ハザードの解消率 （算定式）災害ハザード解消率 = 解消された団地数 / 管理団地数	40%	%	100%
2	高齢者や子育て世帯に配慮したバリアフリー化住戸を整備する （定義）町で管理する公営住宅のバリアフリー化住戸の数 （算定式）バリアフリー化率 = バリアフリー化された住戸数 / 管理住戸数	43%	%	100%
3	PFI事業により民間活力を導入し、特に老朽化した高経年の公営住宅を耐震性、省エネ性を備えた良質な住宅に建替え整備・維持管理し、住まいのセーフティネットとしての機能を充実させる （定義）PFIにより、特に老朽化した高経年の公営住宅を建替え整備する戸数 （算定式）建替え整備が完了した戸数	0戸	戸	85戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R08	R09	R10	R11	R12				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	利府町	直接	利府町	-	-	公営住宅等整備事業	特に老朽化した高経年の公営住宅の建替事業、国土強靱化地域計画に明記された事業、PFI手法による公営住宅の建替事業	堀川、石田、八幡崎住宅 85戸						2,597		策定済	
												小計						2,597		
											合計						2,597			

